



紅い月～あの人に愛されますように～/Gulliver Get

GZCA-4094 1260円
本文中にあるように、粘り着くようなタイトル曲から、サラサラと爽やかな曲まで多彩なメジャーデビューシングルとなる一枚。Vo.のアヤヲ曰く、「f感をつくのも楽しさだったりする、その大事なものを見極めましょうよ、目に見えないものをちゃんと見ていこうよ」というのがモットー。ジャケットは'80sの頃のREBECCAやPASSENGERSを彷彿させる



WHO IS THIS BITCH, ANYWAY? /MARLENA SHAW

東芝EMI 2345円
アヤヲがリズムやグルーブを勉強したという、歌を聴かせる「歌パン」としてのひとつの理想型。マレーナ・ショウは当然、DAVID T. WALKERやLARRY CARLTONら、バックのメンバーも超豪華



SONGS IN THE KEY OF LIFE VOL.1 & 2 /STEVIE WONDER

UNIVERSAL INTERNATIONAL 3465円
意外にも「メチャメチャやかましいギターばかり弾いてました」というロック一辺倒だったギターの山本が、聴いたこともない楽器も含め、色んな音色とサウンドをつくっていくイメージを学んだという一枚



TOKYO TALES/Blind Guardian

VICTOR 2500円
「コレを語るのにはリーダーだけ(笑)(アヤヲ)。「コイツを雑誌の持で紹介するのが夢だった。11つまでもメタル魂を持ち続ける」という気持ちでずね」と山田が言うジャーナメンタルは、少々意外な一枚か

recommended 01

recommended 02

recommended 03



Gulliver Get

ガリバー ゲット

左からリーダーの山田洋一 (B)、鶴田憲司 (Dr)、アヤヲ (Vo)、阪口裕一 (Sax)、山本隆 (G)。5人全員が「RAG」に出入りしていたが、結成は実に7~8年がかりであった。インストバンドから、4番目に加入した輪郭のはっきりしたハスキーヴォイスを持つアヤヲの加入を待って、歌パン(ヴォーカル中心のバンド)となる

PPS

POWER PLAY SOUND
Music is moistened our life. Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.

カラーコンテでデッサンを描くように
確かなテクニックで聴かせる「歌パン」

祈りじゃない、懇願でもない、夢見るのでもない。邪気のない呪いのような歌詞が、月を映す風いだ湖面のような、穏やかなインストにのる。そんなタイトル曲から一転、M2では全ての余分を削って身体の内側、つまり心を晒すような独白調…。

ジャンルで語られることを嫌うミュージシャンは多いが、「ウチはメンバー全員が曲を書くので、それぞれの色が出てジャンルで言いづらい。自分でも同じバンドと思えないですから(山田)」「ジャンル分けして欲しくない、というより自分たちでも無理(笑)(アヤヲ)」。

バリエーションが多いのか、一貫性がないのか。それはオーディエンスが決めること。確実に言えるのは、各々が師事したり、リスペクトするミュージシャンを訊けば、ライヴのホームグラウンドが「RAG」であることに深く頷けること。勢いで行ってまえ! というより、ほんの小さなところが許せずに細かい作業を続ける音づくりは緻密。それぞれの確かな技術力の上に成り立つ「歌パン」である。

文頭のインプレッションはこのシングルに限ったものであるが、何とというか、耳には優しいが匂い立つような生々しい雰囲気がある。

「良いんですそれで。私は『火曜サスペンス系』と呼んでるんですけど(笑)。人は一辺倒ではいかないでしょう?『優しくならな』と解ってるけれども、どうしても汚いところが出てしまったりする。それが一曲一曲でちゃんと表現してあげられたらいいなあ、と。リスク?考えたことないです(笑)(アヤヲ)。アックラカンとしたものだ。

出身は様々だが、現在は全員が京都在住。最近、「街」という歌詞が多いことに気づいた。それはやっぱり京都の街で、「四条河原町にいた恋人同士の痴話ゲンカを書いた歌があったりします(笑)(アヤヲ)」。「阪急の階段から地上に出たらカップルがいて、男性が『行かないでくれ!』と。ドラマみたいなシーンに出会ったので…(阪口)」。

酸っぱい胸の痛みから、指を噛んだ生傷まで。立体感と幅のあるサウンドは、しっかり線を描けながら、指でこすれば色の面が生まれる、画材道具であるコンテのようなものだ、と、ポツリと阪口が言った。

明日のあなたの日常の1シーンが、来月のあなたの1日が、そんな曲に仕立てられるかもしれない。